曲者を捕へて見れば社長さん

未だ決定もせない爭議の裁定案を

宮崎さんから「疾風迅雷の勢で

御用紙每日に漏らす

友愛會側は爲めに感情を害し解決に大揉めの上大擧其社に押寄す

仲裁者田中警察部長もブーブー怒る

宮崎大電社長今になつて頭を掻いても此の口がと捻つて見ても後の祭り

問題突發以來十八日間に亘つて紛糾に紛糾を重ねた大電勞働爭議も田中警察部長掉尾の斡旋で愈々解決を告げたのは誠に結構であるがこの解決の骨子である第一第二の覺書が未だ決定しない前に大每紙がこれを知り十七日の朝刊に堂々と記載されたので驚いたのは各社當局の關係者で殊に友愛會の如きは十七日朝電業員の意見を徵さうと思つてゐるのに夫れ以前に素破拔かれたので大憤慨爲めに圓滿に協議出來る事項迄が惡化したといふ樣な大問題を惹起した上堪り兼ねた一團は午後三時大示威運動を起して其社幹部に強硬な談判を持込むやら大騷動を惹起した。一體まだ決定もせぬものを然も極秘中のものがどうして漏れたのか漏した曲者は誰か。

不思議不思議

肝腎の島大電取締役も知らない先に之れが他に漏れた

十六日夜大電側から宮崎社長が田中警察部長官舍で田中部長が指示した案件即ち第一第二覺書草稿を渡されて立出でたのは午後八時半前後、歸社後これを島氏その他に示して承諾の內意を傳へたのは同十時半である

十七日午前十時を期して該案件を各新聞社に一齊發表すべく固き契約の下に立別れ十七日は愈々發表すべく警察本部擔當記者諸氏に各所轄警察署を通じて「大電問題に關し五月十七日午前十時迄に警察本部に出頭相成度候」と言ふ召集令を發した。それは田中氏が未だ各新聞紙朝刊に目を通さない午前六時の命令である

然るに每日新聞紙上にこれを掲載されたのは同新聞の五版即ち午後九時前後であつた、實に不思議では無いか、一方田中警察部長が島取締役と協議の上

漏れた案の内容は

唯一通宮崎大電社長が持つ裁定案とは全く同一

大憤慨の田中警察部長

然るに田中氏は該命令を發したので田中氏は愕然として驚き直に各新聞社へ來驅取消の電話を掛けるやら大騷ぎを演じた後何氣なく大每紙を手にしたるに奇怪にも同紙七面に特別の活字を用ひて該案件を一字一句も相違なく掲載されて在つた各新聞記者に對して田中

警察部長は憤然

色を爲し怒氣を含んで語る

「實に大電の遣り方は怪しからぬ島氏から特に發表は自分からして吳れと依賴あり案件は極秘の中にも極秘として扱つてゐたその固い約束がある爲め諸君に對して參集を願ふた譯であるに每日新聞を見るにこの極秘の案件が麗々しく掲載されて居る洩したのは云ふ迄もなく大電重役である。

然るに奇怪に堪へないのは自分が連日の疲勞に頭腦が變になつて居たので案件草稿中の覺書第二『勞働條件に就いては勞働團體へ交涉し』と書いた然るに宮崎社長にてこれを手渡す時この字句の誤りを發見したので「勞働團體」ご交涉し」を訂正して渡したそれが新聞に訂正した後の字句で掲載されて居たのに驚いた、言ふ迄もなく該字句を改訂したのは宮崎社

長に手渡したもの唯一通これ見て吳れ

給へ自分の手元に殘つて居る書類は依然として『を』への儘である

宮崎氏から內諾の回答を受けたのは十時半過ぎてあつた然るに新聞紙には午後九時前後から掲載されて居るこの事實から見て漏洩したのは誰か略推察出來るであらう」

宮崎氏に詰問

辯解に來た萩原課長

身代りに呀や鐵拳制裁

田中警察部長は每日紙に該案件の掲載されたのを見て直に小林高等課長をして宮崎氏に詰問したのに對して宮崎氏は飽迄自分の社から發表したので無いと白ばくれたといふ、この問題で紛糾してゐる、午後一時萩原庶務課長が大電社長の公式回答を齎して來たので忽ち記者團の包圍攻撃を受けアワヤ鐵拳の制裁を受けんとしたが各課長は該漏洩問題に何等關係ないといふ事が釋明されホウ〳〵の態で退廳した

平謝まりに謝まる

辛い立場の島大電取締役

田中警察部長の前で

一方大電島取締役も此漏洩事件に愕然として大電へ若し之れを漏したものが大電社內にありとすれば何處迄も調べた上嚴重處分せよと嚴命した。然して後愈々漏らしたのが大電社內の人で然も案外な所からなので二度吃驚き周章て自動車を驅つて警察部へ田中部長を訪ひ「今度の漏洩は全く自分の方から出たあれ丈け固く御願ひして置き乍ら自分の方？手落から新聞に漏らしたは何とも申譯がありません」と頗る恐縮の體

宮崎さん知らぬ顔

所が當の宮崎大電社長は何所迄も『僕も實際困る、一體誰が之れを漏らしたものであらうか、實際困つた事をして吳れた』と空嘯いてゐる決定もせぬものを